

# WebClass Ver.11.6.0 リリースノート

From v11.5.7  
2019/1/30

## 1 概要

成績関連ツールを中心に、コースでご利用いただく機能の使い勝手を改善する調整やバグ修正を行いました。

また、Debian9 で利用できるよう PHP7 への対応を行いました。

### 必要な環境

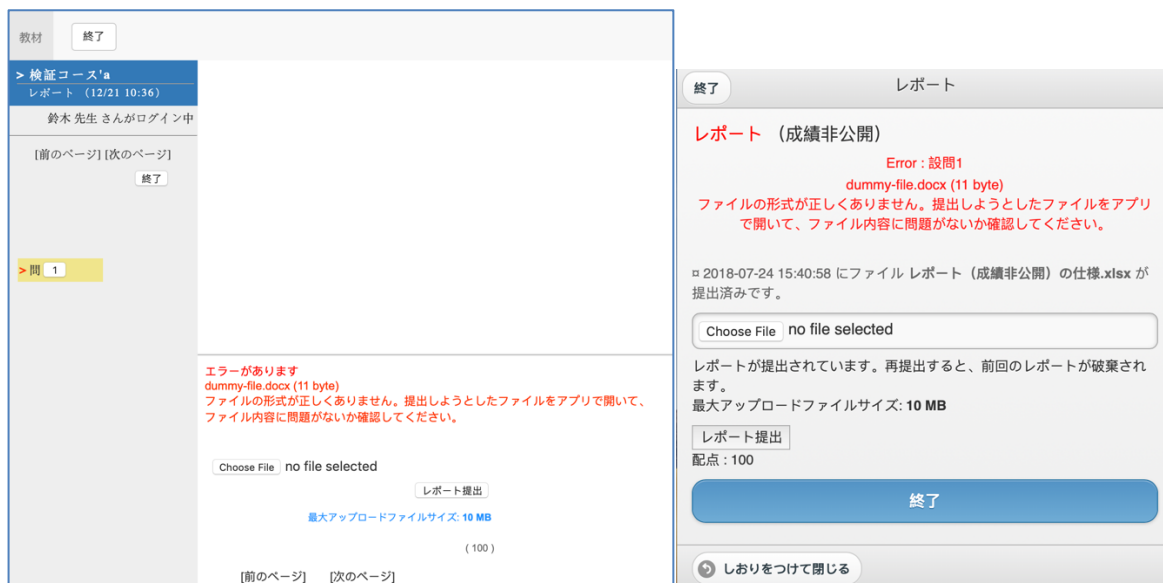
- WebClass ver. 11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.0
- PostgreSQL require 8.4 ~ 9.6

## 2 主な変更点の案内

### 2.1 Android の Word からリンクとして保存したファイルの提出チェック

Android の Word ではドキュメントの保存の他に、「共有」の操作で「リンクとして共有」があります。この操作を行うと、docx の拡張子のままで共有用 URL だけが書き出されたテキストファイルが保存できます。

誤ってこのファイルをレポートファイルとしてアップロードしてしまうと、先生がファイルを開けないことがあります。ファイル名は docx 等であるため、学生も先生も気づきにくいので、レポート提出時にチェックするようにいたしました。



## 2.2 教材の公開設定画面の変更

コース管理者の教材一覧画面より、教材を選択して「公開／非公開設定」を開いた画面では、対象教材についてそれぞれ値を設定することができるようになりました。

教材名	日時制限 有効にする	開始日時	終了日時	アクセス制限
資料1(公開)	<input checked="" type="checkbox"/>	2018-08-20 12:02	2018-08-20 18:02	教材一覧で表示する
資料2(非公開)	<input checked="" type="checkbox"/>	2018-08-20 12:03	2018-08-20 14:03	教材一覧で非表示にする
レポート1	<input type="checkbox"/>			教材一覧で表示する
テスト1	<input type="checkbox"/>			教材一覧で表示する
アンケート1	<input checked="" type="checkbox"/>	2018-08-20 12:05	2018-08-20 18:05	教材一覧で表示する
wiki1	<input type="checkbox"/>			ゲストユーザへも公開する
チャット1	<input type="checkbox"/>			ゲストユーザへも公開する

## 2.3 複数の画面を用いて利用された際の保護機能

WebClass では1つのブラウザウィンドウやタブでのご利用をお願いしています。複数のウィンドウで同時に開いて操作された際、特に同時に複数のコースの画面を操作しようとした時、データの整合性の保護機能を追加いたしました。

時間割やコース一覧からコースを開いてご利用いただくことはできますが、別のウィンドウで別のコースの画面が開きっぱなしになっていた場合、その画面で操作があると以下のようなメッセージ表示でログアウトします。お手数ですが、他のウィンドウを全て閉じてからご利用ください。

WebClass

コース利用中に、別のコースへのアクセスがリクエストされました。  
WebClassの他のウィンドウやタブをすべて閉じ、複数同時に開いて操作しないでください。

鈴木 先生 さん、おつかれ様でした。  
今回の利用時間は 00:07:57 でした。

ログイン画面に戻る

このウィンドウを閉じる

## 3 変更点詳細

---

### 3.1 システム管理者

- ログイン画面
  - WebClass で利用する言語を、ブラウザの言語設定に応じて自動的に切り替えるためのシステムオプション [AUTO\\_LANGUAGE\\_RECOGNITION](#) を追加しました。(!1472)
  - スマートフォン表示の状態から「お知らせ画面」のリンクを開くとエラーで何も表示されなくなっていました。スマートフォンモードのお知らせ一覧が表示されるようにしました。(!1530)
- システム管理者
  - 「システム管理」メニューに「不要ファイル削除」機能を追加し、古いログファイルなどを消してディスク容量を空けることができるようにしました。(!1622, !1710)
  - システム管理者の「ユーザの登録 / 変更 / 削除」画面で、検索条件としてメールアドレスでの検索に対応しました。(!1650)
- お知らせ
  - 「システム管理者メニュー」画面にタブで表示される「管理者からのお知らせ」で、v10.3 から v11 にアップデートしたときにお知らせのリンクが 2 つ表示されてしまうことがある問題に対策しました。CSS のキャッシュ対策を施しました。(!1703)
- メッセージ
  - メッセージダウンロードの画面にあった XSS 脆弱性に対策しました。(!1700)

### 3.2 コース管理者

- 時間割画面
  - 「締め切りが近いレポートがあります」のメッセージは、学生として参加しているコースに対してのみ表示されるようにしました。(!1463)
  - [SHOW\\_ALL\\_AVAILABLE\\_COURSE](#) を有効にしてトップページの「参加可能なコース」を表示している環境で、参加可能なコースが存在しない場合にも検索フォームや「コースが見つかりませんでした」の表示が出ていたため、候補が最初からなければ検索フォームを表示しないようにしました。(!1569)
- コース
  - コース名に `html` タグによる装飾を施した際、装飾が反映されず `html` タグが文字として出力されてしまう画面がいくつか存在していた問題を修正しました。(!1473)
  - 複数のコースの画面を別ウインドウなどで同時に開いている状態では、セッションデータの整合性を損なわないようにするため、強制的にログアウトするようにしました。(!1624, !1696, !1714)
  - メンバー管理の「アクセスログ」画面で、ログイン回数が多く数えられていました。ユーザが教材を終了したときに教材一覧画面を開きなおす画面遷移でログイン回数が増えていました。同じコース内での画面移動でコースのログイン回数が増えないようにしました。(!1696)
- 教材一覧

- IE11 で教材のエクスポートをする時、ダイアログの表示が崩れる問題を修正しました。(!1467)
- 掲示板、wiki、チャット教材において、最後に書き込んだユーザと日時が表示される「最新の投稿」ポップアップ画面に XSS 脆弱性が存在したため、スクリプトが実行されないように修正しました。(!1497)
- 教材の公開期間やアクセス制限を一括設定する「公開/非公開設定」画面で、教材ごとに制限を設定できなかったため、画面のレイアウトをリスト表示形式に変更しました。(!1509, !1539)
- User 権限の「教材一覧」画面では外部データインポート、授業支援ボックスおよび飛ぶノート出雲連携教材は非リンク化しました。また、スマートフォン画面でそれら教材を実行した時、言語定義ラベルがそのまま表示されていたので、説明が表示されるよう修正しました (!1604)
- 「教材並び替え/ラベル設定」画面で、ラベルを削除した際、そのラベルをつけていた教材が消えたように見える件を修正しました。(!1610)
- 教員の「教材一覧」画面の HTML 内に、教材ロックパスワードと実行パスワードが埋め込まれていた問題を修正しました。(!1611)
- 学生の教材一覧画面で、利用期間外の教材の再提出指示がされているとき、教材の開始リンクが無効化されていました。再提出指示があるときはリンクが有効になるようにしました。(!1626)
- 教材一覧画面で、外部データ教材が区別できるように注意書きを表示するようになりました。(!1626)
- 先生の教材一覧画面の表示に時間がかかることがあったため、処理を改めて速度改善しました。(!1629, !1687, !1704)
- モバイル画面用のメニューが PC 画面でも表示されてしまうことがある問題を修正しました。(!1635)
- 教材の公開期間やアクセス制限を一括設定する「公開/非公開設定」画面でロックパスワードがかかった教材の更新操作をしたときは、「保存」ボタンを押したときに更新しないで警告を表示するようになりました。(!1670)
- 教材の編集・管理
  - 資料やテスト教材で、教材の一括取り込み後に「ページ編集」画面で任意のページを編集すると、エクスポート後のインポートや教材のコピーが正しく行えなくなる問題を修正しました。(!1647)
  - 既にラベルが設定されている教材を、「設定」画面でラベルを空にして保存すると、ラベルの変更が反映されていなかった問題を修正しました。(!1688)
  - 資料教材のページ本文、もしくはテスト教材の設問の問題または解説にテキストの入力をして PDF 形式に変換していた時、教材をエクスポートまたはコピーするときに時間がかかった問題、および生成した PDF がコピーされなかった問題を修正しました。(!1709, !1711)
- 教材実行
  - 表示言語が英語の時に PC モードで教材を実行した際、左上に「教材」と日本語で表示されてしまっていたので、表示が英語に切り替わるようにしました。(!1483)
  - SCORM 教材実行時のセキュリティ脆弱性を修正しました。(!1651)
  - MathJax を利用した HTML ファイルを資料教材やテスト教材に取り込むと、Debian 8 を利用している環境では Latex ファイルと認識されて取り込まれていたため、HTML ファイルとして取り込めるようにしました。(!1564)

- テストや資料のファイル取り込みで EUC-JP または JIS の文字の HTML ファイルを取り込んで PDF 生成すると白紙ページが出力されていました。中身が出力されるようにしました。(!1685)
- テスト・アンケート
  - スマートフォン用のモードでテスト教材またはアンケート教材を実行した時、表形式の設問の表の中の改行やタグが反映されていなかったため、反映されるように修正しました。(!1492)
  - 「テスト/アンケート オプション設定」画面上部およびオプション項目の説明について英文校正しました(!1516)
  - 「単語/数値入力」「マッチング」「順序付け」「ドロップダウン」形式の問題作成画面を開いたとき入力フォームにデフォルトで表示される文字がバイリンガル表示に対応していなかったため、日本語表示時は「解なし」、英語表示時は「No Correct Answer」に切り替わるようにしました。(!1522, !1562, !1618, !1631, !1669)
  - 「単語/数値入力」形式の問題編集画面で、空欄を残して[保存]を押したときに補填される「解なし」や「No Correct Answer」が一つだけで「順序付け形式」と統一が取れていなかったため、すべての空欄に補填されるようにしました。(!1631)
  - 「ロックパスワード」を 0 に設定したテスト・アンケート教材の採点画面および集計画面で「ロックパスワード」の確認画面がスキップされてしまうバグが存在したため、正しくチェックが行われるように修正しました。(!1538)
  - マッチング形式の設問ではドロップダウンボックスに表示される選択肢が、PC では添え字がなくモバイル画面では添え字がついていたため、PC にあわせてモバイル画面でも添え字を表示しないようにしました。(!1589)
  - スマートフォン用のモードで順位付け問題の解答画面を表示したとき、設問番号と順番を示す番号の見分けがつきづらかったためユーザの解答と正答を表形式で表示し、また設問番号を括弧に入れて表示することで両者の区別をはっきりとさせるようにしました。(!1615)
  - 順位付けの問題作成画面で「正答」欄の設問番号に括弧がついておらず、画面下部に表示される問題のプレビューと表示が一致していなかったため括弧を付加しました。(!1615)
  - 選択肢形式のテストを簡易に作成できる画面を、新たに追加しました。(!1617)
  - iOS9 以前の Safari で教材を実行したとき操作できなくなる問題を修正しました。(!1633)
  - 「回答の見直しを許可」のオプションが有効なテスト教材を 2 つ同時に起動すると、回答データが同時に開いていた 2 つの教材で入れ替わってしまうことがあったため、起動している教材の異常時にはエラー表示をしてデータを守るようにしました。(!1627)
  - 「単語/数値入力」形式の問題を全角半角英数を区別しない設定にしたとき、アポストロフィをあらゆる全角の 3 文字を半角シングルクォータと一致させて採点するようにしました。(!1659)
    - マッチするのは以下の文字です
      - ' :SJIS 0027, U+0027 APOSTROPHE
      - ' :SJIS 81AD, U+FF07 APOSTROPHE Fullwidth
      - ´ :SJIS 814C, U+0024 ACUTE ACCENT
      - ´ :SJIS 8166, U+2019 RIGHT SINGLE QUOTATION MARK
  - 「表形式(2)」形式の問題編集画面で表をインポートするためのサンプル CSV ファイルについて、日本語・英語の言語切り替えに対応しました。(!1671)

- レポート
  - 教材の「レポート」にて条件分岐を「レポート提出」に「無条件で」を設定した際に、レポート提出を行うと意図せず一部のみが条件分岐先に遷移してしまっていたため、レポート提出後、レポート提出確認文面が表示され、次の問題に遷移しないように修正しました。(!1560)
  - 学生がレポートファイルを提出する際、ファイル名にはオフィスファイルの拡張子が付いているのに、実際にはオフィスファイルのファイル形式ではない場合はエラーメッセージを出して受け取らないようにしました。(!1586, !1716)
    - あくまでも簡易的なチェックで、テキストファイルのファイル名を変えただけなど、ファイルサイズがあまりに小さすぎるときにエラーになります。
  - 教材の「公開状況」画面の「テスト形式オプション」にピアレビューなどの項目が重複して表示されていたので、重複がなくなるよう修正しました。(!1679)
- 外部データインポート
  - 外部データインポート教材を作成画面から CSV ファイルを取り込むと、取り込みが完了したらそのまま教材一覧画面に戻ってしまっていたので、いったん取り込み結果画面を表示するようにしました。(!1496)
- 成績
  - コース管理者の「進捗状況一覧」画面で、「合計利用時間」ボタンを押して表示される会議室または資料教材の利用時間の数字のリンクが旧バージョンの学習履歴画面へのリンクになっていたため、現在の「学習履歴」画面に遷移するようにしました。(!1486)
  - 「SCORM 教材の成績一覧」画面で、成績データが存在しない教材を選択した際に表示されていた[このウィンドウを閉じる]リンクを削除しました。(!1499)
  - 「SCORM 教材の成績一覧」画面で、データが生成されないページ(SCO)を含む SCORM2004 教材を選択すると、成績データが表示されなかった問題を修正しました。(!1534)
  - user 権限で「集計」画面から「SCORM 成績一覧」に遷移した際に表示されていた旧「成績一覧」画面への「»成績一覧に戻る」リンクを削除しました。(!1668)
  - 成績評価「評価教材の編集」画面の説明文について英文校正しました(!1516)
  - 類似レポート検知「新規ジョブ登録」画面の設定項目について英文校正しました(!1516)
  - 「問題ごとの成績表示/再採点」画面などの検索条件の文言について英文校正しました(!1516)
  - 「レポート一覧」画面で、「氏名」、「ユーザ ID」、「数字部分」の列のソートが正しく動いていませんでした。指定通り列の値でソートされるようにしました。(!1541)
  - 「問題ごとの成績表示/再採点」「個人ごとの成績表示」「アンケート集計」画面において左フレームと右フレームの境界線が表示されず、Firefox,Safari,IE において左右フレームの比率が変更できない問題が発生していたので、境界線を表示するように修正しました。(!1582)(!1594)
  - コース管理者の「個人ごとの成績表示」画面やユーザー権限で教材を実行したときの採点結果画面において、長い解答が途中で省略されて画面上では途切れているように見えていたので、省略されていた箇所最後に「…」を表示することで回答が省略されていることがわかるようにしました。(!1585)

- コース管理者の「進捗状況一覧」画面で「合計利用時間」ボタンを押したとき、学生一覧にメッセージ送信のためのボタンとチェックボックスを表示するようにしました。(I1632)
- コース管理者の「進捗状況一覧」画面および「成績一覧」画面では、CSV ファイルでデータダウンロードしたときにユニット教材の分のデータを出力していませんでした。ユニット教材についても、表示している表と同様に教材名とデータを書き出すようにしました。(I1632)
- 問題ごとの成績表示／再採点
  - 記述式問題またはレポート提出問題がある問題に対して「問題ごとの成績表示／再採点」画面からブランクレコードを生成すると、「レポート／記述式問題の採点」画面で確認したときブランクレコード生成した学生も未解答の扱いになっていました。「レポート／記述式問題の採点」画面でブランクレコード生成したときと同じように、提出の扱いになるように変更しました。(I1523)
  - 「問題ごとの成績表示／再採点」画面と「レポート／記述式問題の採点」画面で、【未提出者を表示】ボタンを押したときパスワード入力欄の値が維持されない問題を修正し、再度入力し直さなくてもよいようにしました。(I1713)
- レポート採点
  - レポート課題の「公開状況」画面にある「採点する」のリンクを使うと、教材にロックパスワードがかかっているにもかかわらずそのまま学生のレポートを開けてしまったため、パスワード確認をするようにしました。(I1511)
  - 記述式問題の採点画面で、回答の表示文字サイズを入力フォームの文字サイズと揃えて少し大きくして読みやすくしました。(I1535)
  - 教材「レポート/記述式問題の採点」画面において、「対象」を「すべてのコース」に設定して「未提出者を表示」をクリックしたとき、コース管理者が管理するコースのユーザのうち、その教材もリンクもないコースのユーザ全員が未提出者として含まれて表示されていたので、その教材のコースまたはリンク教材のあるコースに属するユーザの中で未提出のユーザのみを表示するようにしました。(I1531)
  - php5.3 環境において「レポート/記述式問題の採点」画面で一括採点を行う際、登録する CSV ファイルの「comment」に半角のバックスラッシュが含まれていると、取り込みが正しく行えない問題が存在したため、すべての環境で正しく取り込みが行えるよう修正しました。(I1579)
  - 「教材一覧」画面の「未採点の答案 ○」(○の中には未採点の答案の数が入る)リンクから「レポート/記述式問題の採点」画面を表示し、その後【回答を表示】を押した際、表示される答案の数がリンクの数字と一致していなかったため、デフォルトのフィルター設定を変更し、数が一致するようにしました。(I1581, I1694)
  - 教材「レポート/記述式問題の採点」画面にて再提出を指示させる際に、ドロップダウン式にて日付を選択するものから、カレンダーを用いて日付と時間を選択できるようにし、日付と時間を選択しやすくしました。(I1630)
- アンケート結果
  - 学生に公開した「アンケート結果」画面では、アンケートの質問文に改行が反映されていなかったため、出題の際の表示と揃えて改行が入るようにしました。(I1532)
  - 表形式の設問を「アンケート集計」画面で開いた時、「回答の詳細」表示では表の行タイトルと列タイトルで HTML が解釈されなかったため、HTML 解釈して表示するようにしました。(I1533)

- 教材詳細画面の「アンケート結果を表示」から開いたとき表形式のアンケートには対応していなかったため、表形式の行問題に対する列選択肢を選んだ人数をスタック形式で表示するようにしました。(!1576)
- 掲示板
  - モバイルモードでの「質問 / テーマの一覧」画面について、テーマおよび返信がすべて保留のような場合、返信数がマイナスとなる不具合を修正しました。(!1697)
- チャット
  - チャット画面の投稿文が読み取り辛かったため、背景色や文字色などを変更しました。(!1593)
  - 投稿文の入力欄に長文を入力した際、入力欄の縦幅が自動調整され[送信]ボタンが押せなくなる問題が存在したため、自動調整機能を停止しました。(!1597)
  - チャット画面で容量の大きな画像や、複数の画像を表示しようとする際に動作が遅くなっていたため、容量の小さいサムネイル用の画像を表示することで応答速度を改善しました。(!1598, !1654)
- タイムライン
  - IE11 でタイムラインの入力フォームの表示が崩れる問題を修正しました。(!1467)
  - 「教材の作成」メニューに、「簡易テストを作成」ボタンを追加しました。(!1617)
  - 画像をアップロードしたとき、サムネイル用の画像を作成して保存するようにしました。(!1654)
- ユニット
  - 「日時制限」や「実行回数の制限」を設定しているユニット教材が、制限に関係なく実行できてしまっていたため、エラー画面へ飛ばすように修正しました。(!1476)
  - ユニットの教材の進め方を「順番に進める」に設定し、合格点の設定があるテスト教材を複数登録している時、合格点の設定があるテスト教材の2個目以降では不合格の点数をとっても次の教材に進めてしまっていました。それぞれ合格点をとらないと次の教材に進めないようにしました。(!1646)
  - ピアレビューを有効にしたテスト教材をユニットで利用する際、教材一覧でユニット教材の「▼」リンクより展開したときに、まだテスト教材を利用していなくてもピアレビュー画面へのリンクが表示されていました。自分が利用するまではリンクが表示されないようにしました。(!1660)
  - 非公開設定のテスト・アンケート教材をユニットで利用する際、「提出されたアンケート/レポートの公開」オプションを有効にしても結果へのリンクが表示されていなかったため、教材一覧でユニット教材の「▼」リンクより展開したときに結果画面へのリンクを表示するようにしました。(!1660)
- 学習履歴
  - コース管理者や学生が教材の「学習履歴」画面を表示する際、件数が多くてメモリー上限エラーになることがあったため、表示できる履歴を300行までに制限しました。(!1486, !1684)
  - コース管理者や学生が教材の「学習履歴」画面を表示したとき、しおりを付けて教材を閉じることを繰り返した教材の利用時間が通常よりも増えていってしまったので、正しい利用時間を表示するようにしました。(!1625)



- コース管理者が回答の見直しを許可している教材の学習履歴を削除するときは、誤って成績データを削除してしまうことを防ぐため、削除前の確認メッセージに追加で注意書きを表示するようにしました。(11652,11708)
- eポートフォリオ・コンテナ
  - 「学習成果物のインポート/エクスポート」画面の説明文について英文校正しました(11516)
  - 学生の入力する成果物や評価のタイトルやメモ等について、XSS対策のためHTMLエスケープして表示するようにしました。(11575)
  - 「eポートフォリオ・コンテナ」画面の成果物一覧に表示される成果物のメモについて、改行を反映して表示するようにしました。(11575)
  - ルーブリックの観点タイトルや段階記述に数字のゼロだけを入力すると、行を表示できなくなっていたため、数字のゼロも入力文字として表示できるようにしました。(11588)
  - コース管理者が「学生モード」に切り替えて「標準」学習スタイルのeポートフォリオ・コンテナを表示した際に、自分の成果物に対して自己評価を登録できるようにしました。(11607)
  - 学習成果物を「テスト/アンケートに対応付ける」を設定したとき、記述式の設問に答えてもeポートフォリオ・コンテナに成果物として登録されなかったので、記述式の設問に対して回答を書き換えて保存したときには、eポートフォリオ・コンテナに成果物として記述内容が登録されるようにしました。(11607)
- グループ
  - IE11で「グループメンバーの確認/削除」のダイアログの表示が崩れる問題を修正しました。(11467)
- コース管理
  - 「コースメンバー一覧表」画面からダウンロードしたcsvファイルのヘッダとデータがずれている問題を修正しました。(11457)
  - 「コース&メンバーの一括登録」画面で、CSVの登録処理結果をブラウザ画面に表示できなくても後から結果を確認し直せるよう、ログファイルをダウンロードできるようにしました。(11555)
- ノート
  - ノートのダウンロード時に、PDF形式を選択できるようにしました。(11556)
- 動画再生
  - システムオプション **HLS\_OPTION** 有効時に取り込んだHLS動画において、オプション無効時ではメタデータ(m3u8ファイル)のみが表示されてしまう問題を修正し、HLS再生出来るように変更しました。なおシステムオプション **HLS\_OPTION** は、HLSとして取り込むことが出来るかどうかを決定します。(11482)
  - PCのSafariのHLS再生時に[»サイズ変更]リンクが表示されていなかった不具合を修正をしました。(11505)
  - HLS利用時に資料/テスト教材編集画面でMP4動画をアップロードした際に元ファイル名が表示されるように変更しました。(11683)

### 3.3 連携機能

- CAS認証
  - **AUTOMATIC\_USER\_REGISTRATION** オプションが有効な時点で、WebClassに登録がまだないユーザがCASでログインしようとしてきたとき、自動登録するユーザ情報

が CAS からはログイン ID しか得ていなかったため、LDAP を参照して取得するシステムオプション `CAS_AUTOMATIC_USER_REGISTRATION_BY_LDAP` を追加しました。(!1495)

- LDAP
  - OpenLDAP を使用している環境では LDAP がログイン ID の大文字小文字を区別しないで認証を通すため、WebClass に大文字小文字だけ違う異なるユーザが自動登録されることがありました。LDAP\_USERID\_CASECHECK オプションによって WebClass 側でユーザ ID の大文字小文字をチェックするようにしました。(!1673)
- メール
  - MAIL の charset(システムオプションの `MAIL_CHARSET`)の default を ISO-2022-JP から UTF-8 に変更しました。[新規導入時分から対象] (!1686)
- LTI
  - LTI で Turnitin を利用時に複数のメールアドレスが設定されているアカウントだと起動できない問題を修正しました。(!1474)
- 授業支援ボックス連携
  - システムオプション `FXMLSLINK_FORCE_USER_SEARCH_IGNORE_CASE` を追加し、ユーザ ID もしくは学籍番号を大文字小文字区別せずにチェックできるようにしました (!1604)
  - システムオプション `FXMLSLINK_NOTIFY_DEFAULT_BBS_NAME` を追加し、`FXMLSLINK_NOTIFY` が「bbs」の時、通知先の掲示板名を「Notification」から変更できるようにしました (!1604)
  - 授業支援ボックスの集計結果転送について、システムオプション `FXMLSLINK_NOTIFY` を「1」にすることで、通知を WebClass メッセージで受信することができるようになりました (!1604)
  - 連携教材の「公開状況」画面の「レポート / 記述式問題の採点」でスマートフォン版レポート採点画面を開いていたが、PC 画面を開くよう変更しました (!1604)
  - 複合機パネルに表示されるコースについて、操作する教員はコース権限で「テスト成績管理」と「レポート成績管理」を必要とするようにしました (!1604)
  - 掲示板通知において、掲示板オプション「新規投稿があったらメールで知らせる」が有効の場合、BBS URL をメールに表記するようにしました (!1604)

### 3.4 その他

- その他
  - 英語表示時に「アカウント情報の変更」の氏名やパスワード、メールアドレスが変更不可の文言が不適切だったので、修正しました (!1458)
  - LibreOffice の Excel の脆弱性に関する注意書きが、システムオプション `OOCONVERT_EXCEL_ENABLED` で切り替えから漏れているところを補いました。(!1468)
  - コース管理者「アクセスログ」画面の説明文について英文校正しました (!1516)
  - コース管理者「ログイン状況」画面の説明文について英文校正しました (!1516)
  - コース名や教材名にシングルクォータ(')の文字があった時、画面に \1 の文字に置き換わって表示されることがある問題を修正し、そのままシングルクォータが表示されるようにしました。(981141fb)
  - データベースに接続できなくてエラー画面を表示する際、HTTP Status code を 500 または 503 (メンテナンス中の時) で応答するようにしました。(!1641)

- 教材の配点の変更が操作ログに記録されるようにしました。(!1655)
- 教材の「オプション設定」画面および「編集」画面のポップアップヘルプは日本語のみ対応していましたが、英語表示時でも英語ヘルプが表示されるようにしました。(!1657,!1691)
- マニュアルを更新しました。(!1663,!1698)
- 新規導入時のシステムオプション `OOCONVERT_EXCEL_ENABLED` のデフォルトを 1 (有効) に変更しました。(!1692)

### 3.5 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.0.0 -> v4.1.0
  - 特定の組織から、子孫組織に対して再帰的に一括権限設定をできるようにしました。(!1436)
  - 「コースリスト画面」に「コース活動状況」のリンクは常に表示されていましたが、デフォルトでは非表示になるように変更しました。(!1485)
  - システムオプション「LOG\_VIEWER\_AUTHOR\_OPEN」が有効な時のみ、author に「コース活動状況」のリンクが表示されるようになりました。
  - システムオプション「LOG\_VIEWER\_USER\_OPEN」が有効な時のみ、user に「コース活動状況」のリンクが表示されるようになりました。
  - 組織スケジューリング機能で、日本語のロール名を対象としたとき、CSV ダウンロード時に文字化けする問題を修正しました。
  - 組織スケジューリング機能で、学習記録ビューアに登録していないユーザを対象にできるよう修正しました。
  - 「コース活動状況」の「出席データ一覧」に出欠に関わらずすべて欠席と表示される問題がありましたが、出欠が正しく表示されるように修正しました。
- 教職履修カルテプラグイン v2.1.1
- 修学カルテプラグイン v2.6.11 -> v2.7.0
- 授業評価アンケートプラグイン v2.6.4 -> v2.8.0